

いのち ひかり あい

LIFE
LIGHT
LOVE



Contents

- イースター礼拝
- 大学寄宿舍からのあいさつ
- 東北学院のキリスト教活動の紹介
- 宗教センタースタッフより
- 宗教センターからのお知らせ



2021 各学校のイースター礼拝

春の時期に、各学校ではイースター礼拝を行います。イエス様の復活を喜び、記念する礼拝です。クリスマスほど知られていませんが、新しい命がイエス様を通して私たちに与えられたことをお祝いします。本学のスクールモットー「いのち ひかり あい」も、その命と光、そして愛を表しています。

幼稚園 イースター礼拝



幼稚園イースター礼拝は、4月16日(金)、感染防止対策のため学年毎に守りました。年長礼拝では宗教センター 鐺木道剛先生より、やさしくイースターについてお話をしていただきました。クリスマスも交えてのお話も、昨年度クリスマス礼拝でイエス様のお誕生をお祝した子ども達だけあって、真剣に聞いていました。最後は楽しみにしていた「イースターエッグ」。色とりどりの卵の中から「どれにしようかな」「音がする!」「中に何か入っている!」と嬉しそうに持ち帰る姿が見られました。



幼稚園園長
島内 久美子

中学・高校 イースター礼拝



田中 信矢 牧師

中学・高等学校は、南光台キリスト教会の田中信矢牧師を礼拝にお招きしてお話をお伺いしました。

<説教要旨>

人間が「終わった」と終止符を打つような出来事を、神様は句読点とされる。人間の宣告するピリオドは、神様の御計画の中では大いなるcomma (区切り)なのである。絶望や挫折、そこから新しく展開する道、神が一切を益とされる希望が存在する。主イエスの復活によりキリスト教信仰は始まった。私達は「復活」がなければ、惨めな者でしかない。しかしわれらは「復活」に招かれているからこそ、未だ見えない時代に挑む希望をもつのである。

聖書
コリントの信徒への手紙 I
15章12-20節
説教
「出発の希望」



中学校・高等学校 宗教主任
松井 浩樹

榴ヶ岡高校 イースター礼拝



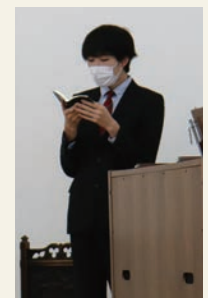
瀬谷 寛 牧師

榴ヶ岡高校では、今年度より礼拝堂から各教室へ動画を配信して礼拝を捧げています。

今年度のイースター礼拝は、仙台東一番丁教会の瀬谷寛牧師からキリストの復活の意味を教えてくださいました。また、この礼拝の司会と聖書朗読を宗教委員の生徒が担当しました。

私は、聖書朗読(ルカによる福音書24章1-12節)を担当しました。聖書に書かれてある言葉の大切さが全校生徒に伝わるように、聖書を朗読しました。今後も学校でささげる礼拝を大切にしていきたいです。

(佐々木康貴記)



3年宗教委員
佐々木 康貴



榴ヶ岡高等学校 宗教主任
西間木 順

大学の三つの寄宿舍 長い間ありがとうございました。

大学の三つの寄宿舍は、毎週の礼拝や集団生活を通して規律正しい生活と良い人間関係を養うことを目的として、教育寮の役割を長い期間にわたって担ってきました。今年度をもって閉舎します。

泉寄宿舍 (1966年開舎)



舎 監：宮本 直規
副舎監：菱河 亮平

若輩ながら2013年より泉寄宿舍副舎監を務めさせていただきましたが、自分が最後の副舎監になるとはよもや思ってもみませんでした。少しでも舎生が気持ちよく過ごせるよう工夫する中で関係部署の皆さんにご支援頂き、得がたい経験にて自身も一人の職員として成長できました。9年間、様々な思い出をありがとうございました。

菱河 亮平



6月15日
寄宿舍礼拝担当
院長・学長
大西 晴樹

泉女子寄宿舍 (1995年開舎)



舎 監：佐藤 真紀
副舎監：菅井 徳雄

泉女子寄宿舍は、大学での友人やネットワークを作る場、大学の学びに安心して集中できる場、

共同生活を通して成長できる場としての役割を果たして参りました。礼拝やイベント、毎日の食事を通し、舎生の皆さんと貴重な時間を共に過ごせたことは、大切な思い出です。これからも舎生の皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。

佐藤 真紀



6月21日
寄宿舍礼拝担当
宗教部長
野村 信

旭ヶ岡寄宿舍 (1963年開舎)

旭ヶ岡寄宿舍は工学部が設置された翌年の1963年(昭和38年)4月に駐留米軍キャンパスのメイド寮を増改築した木造平屋建ての建物を用いて開舎しました。舎生30名でした。1969年には現在の鉄筋コンクリートとなり、今年59年目を迎えます。その間、毎週の礼拝でみ言葉が語られてきました。神に感謝します。



舎 監：長島 慎二
副舎監：栗林 野一

7月6日
寄宿舍礼拝担当
宗教部長
野村 信



東北学院のキリスト教活動の紹介…今年度の礼拝や活動♪



榴ヶ岡高校 ペンテコステ礼拝

【2021年5月28日】

ペンテコステは、キリストの弟子たちの上に聖霊がくだり、教会が誕生したという記念の日です。榴ヶ岡高校では、生徒の司会で、仙台長町教会の林牧師に「わたしは有罪です」と題してお話しをしていただきました。



大学礼拝

礼拝は土樋、泉、多賀城の3キャンパスで毎日守られてきました。現在は新型コロナウイルス対策のため、回数を減らしたり、オンラインで配信したり形を変え、工夫しながら、行っています。

きれいな花に囲まれながら、神様はお花も私たち一人ひとりも、大切に守り育ててくれているというお話を聞き、そのめぐみに感謝する礼拝を守りました。



幼稚園 花の日礼拝

【2021年6月4日】

大学の宗教部の先生たちは、各キャンパスで聖書研究会やキリスト教について学ぶ機会を設け、活動しています。



大学聖書研究会



宗教センタースタッフより

モーセに率いられた出エジプトの旅（エクソダス）は、困難と奇跡の連続でした。エジプトで肉鍋を食べることに満足していた民は、荒野でも、肉鍋を食べたいとモーセを困らせました。その時、神は天からマナという食べ物を降らせたのです（出エジプト記第16章）。翻って、コロナ禍で、学生の食育が心配です。バイトが削られ、栄養価の高い食事を摂っているのだろうか。学食では、栄養価の高いTGランチが安く提供されています。コロナ禍の大学も困難と奇跡の連続です。

宗教センター所長 大西 晴樹



4月から宗教センター担当になった鐸木（すずき）です。

コロナ禍の中、自分だけでなく、みんなが幸せにならねばならないと改めて気づかされています。

この夏のオリンピックを見ていても、スケボアの若者たちが、どれだけ高く飛ぶか（天国へ?）、どれだけカッコいいか（完璧か）を競って、友達どうし成功を喜び合っていて感動的でした。勝ち負けではなく、みんなで共に永遠つまり神さまを目指すのです。「いのち、ひかり、あい」として世界のために尽くす若い皆さんに大いに期待！

理事長特別補佐
鐸木 道剛



皆さん、今年はいろいろな点で、夏は暑く、エキサイトしましたが、秋が来るとすぐにクリスマスを迎える時期になります。時の経つ早さを感じますが、「光陰矢の如し」とか、「歲月人を待たず」、「少年老い易く学成り難し」など、古来語られてきた諺も時に関する教えです。聖書の「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」(コヘレト12:1)とは、改めて大切な教えとして私たちの中に響いています。



宗教センター主任 野村 信



キリスト教Q&A



Q 聖書って何？

A：神様が人類に与えてくださった「約束」、「遺言」なのです。私たちはこの聖書を通して神様の御心(意志)を知ります。

Q 「アーメン」ってなぜ言うの？

A：聖書で「そのとおりです・まことに」という意味です。お祈りの後や讃美歌の後で、みんなで「アーメン」と唱和しましょう。

Q 神父と牧師、何が違うの？

A：現代では、「神父」とはローマ・カトリック教会で用いる「聖職者(神に仕える人)」の呼称であり、「牧師」はプロテスタント教会で用いる呼称です。



●水曜公開礼拝

宗教センターでは、毎月1回第3水曜日に礼拝を行っています。現在はコロナ感染症対策のため、オンラインで配信をしています。本学のHPからぜひごらんください。



～ 編集後記 ～

コロナ禍における制限下で、工夫をしながらセンターの活動を行っています。東北学院各学校の宗教活動の様子をお届けできれば嬉しいです。(O)



LIFE

LOVE

LIGHT

「いのち ひかり あい」第2号

発行：東北学院宗教センター
発行責任者：宗教センター主任 野村 信
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL：022-264-6558
Email：c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp